

新しいクオリティへ、新しいスピードで。

『リそな』

HUMAN COMMUNICATION



証券コード	8308
単元株数	100株
株価*	499円

*2014/3/31終値

リテールトップの金融サービス企業をめざして



RESONA

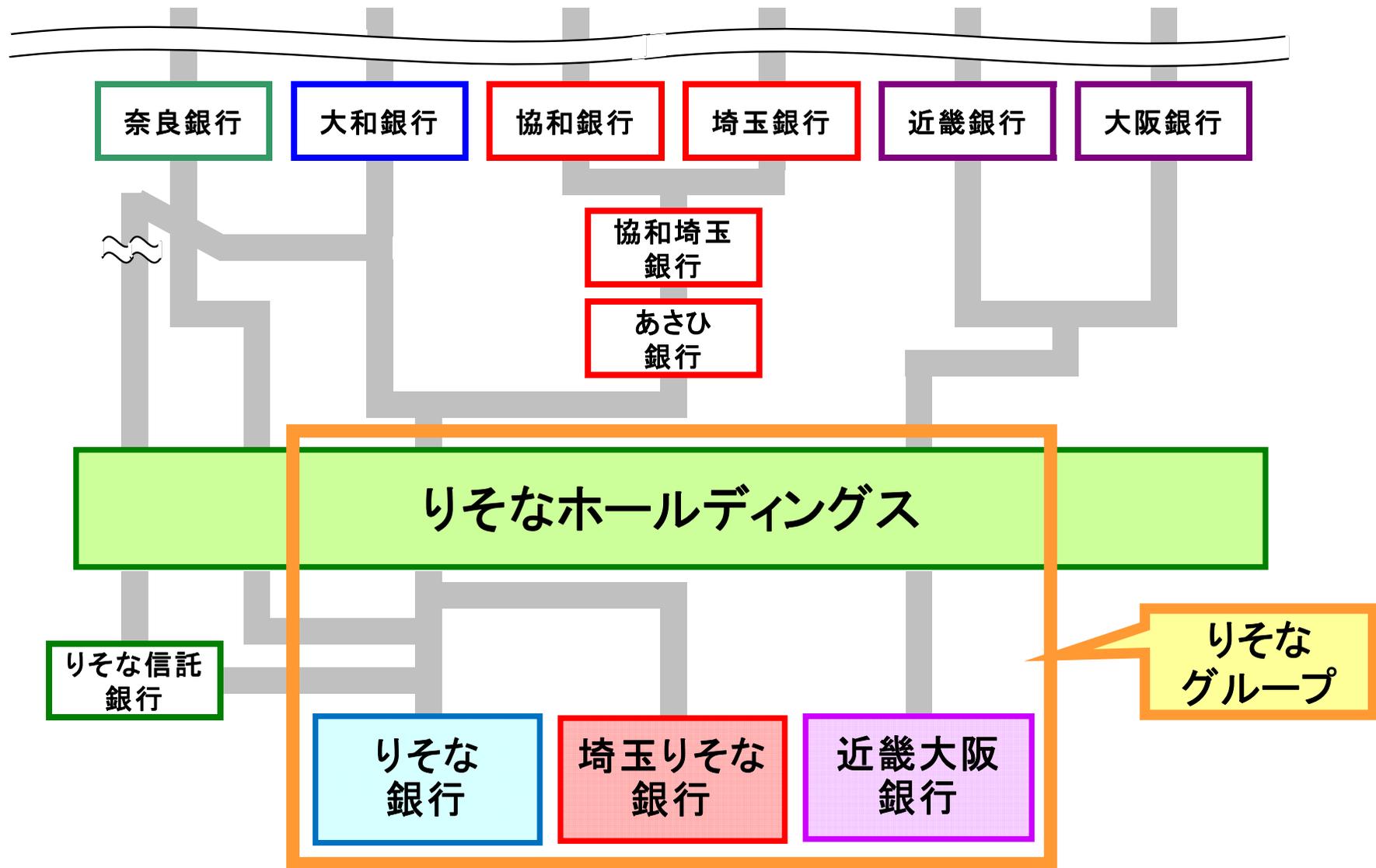
2014年4月

 リそなホールディングス
RESONA



『リそな』のあゆみ

- 金融機関の再編が進む中、複数の合併等を経て現在のりそなグループに



直近の決算概要(りそなホールディングス連結ベース)



- 2013年度第3四半期までの連結純利益は1,736億円
 今期の4分の3を終えて、今期計画(1,850億円)に対する進捗率は93.8%

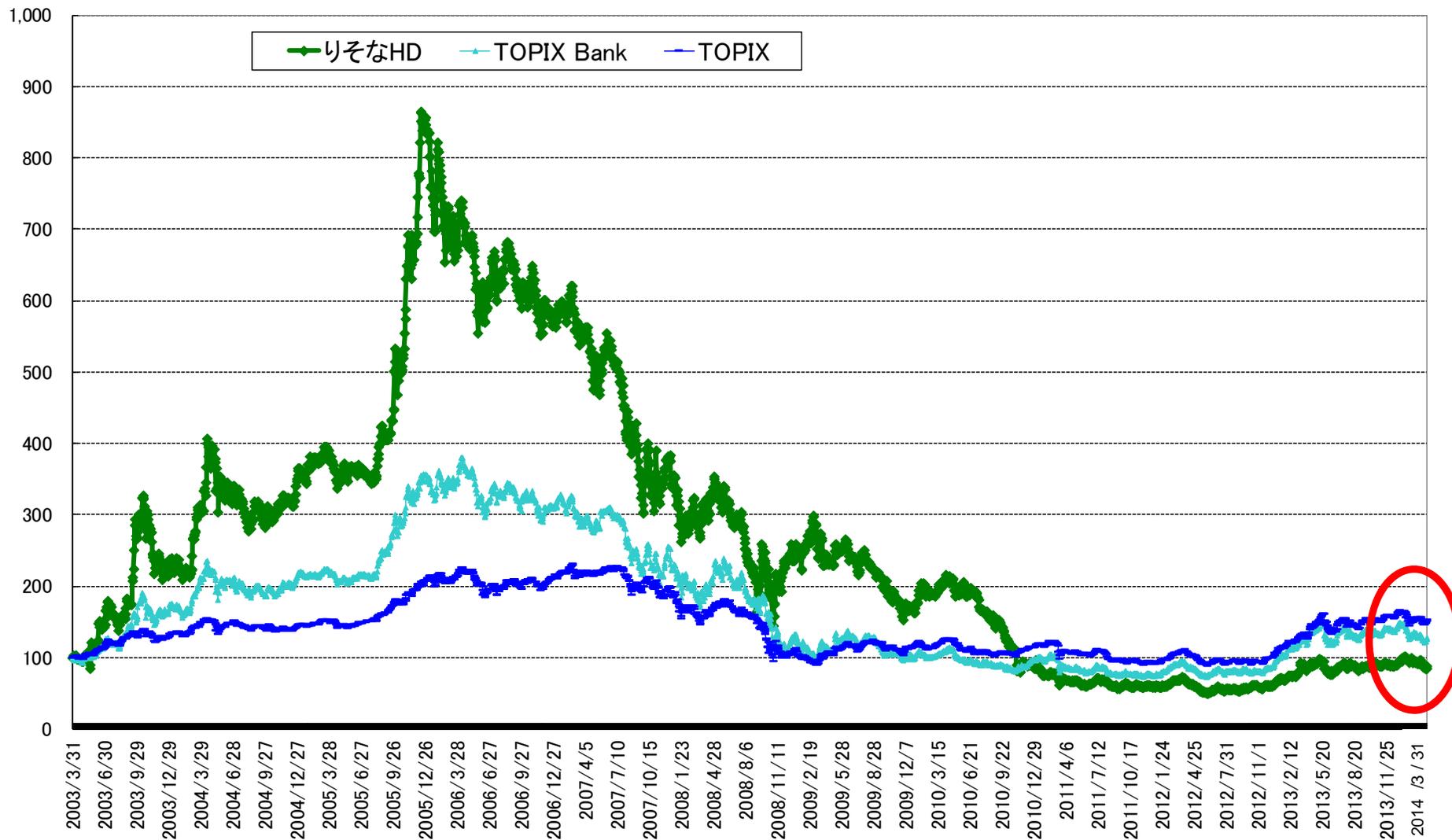
(億円)		2010年度	2011年度	2012年度	2012年度 (~3Q) (9カ月間)	2013年度 (~3Q) (9カ月間)
連結粗利益	①	6,670	6,552	6,371	4,706	4,553
資金利益	②	4,840	4,639	4,430	3,324	3,210
信託報酬	③	259	234	216	159	178
役務取引等利益	④	1,208	1,196	1,289	893	998
その他業務利益	⑤	361	480	434	328	165
営業経費	⑥	△ 3,694	△ 3,609	△ 3,616	△ 2,623	△ 2,598
株式等関係損益	⑦	△ 8	23	△ 75	△ 148	271
与信費用総額*1	⑧	△ 615	△ 138	130	190	329
税引前当期純利益	⑨	2,371	2,732	2,843	2,173	2,579
税引後当期純利益	⑩	1,600	2,536	2,751	2,292	1,736

*1. 正の数値は戻入を表す

株価推移 ①



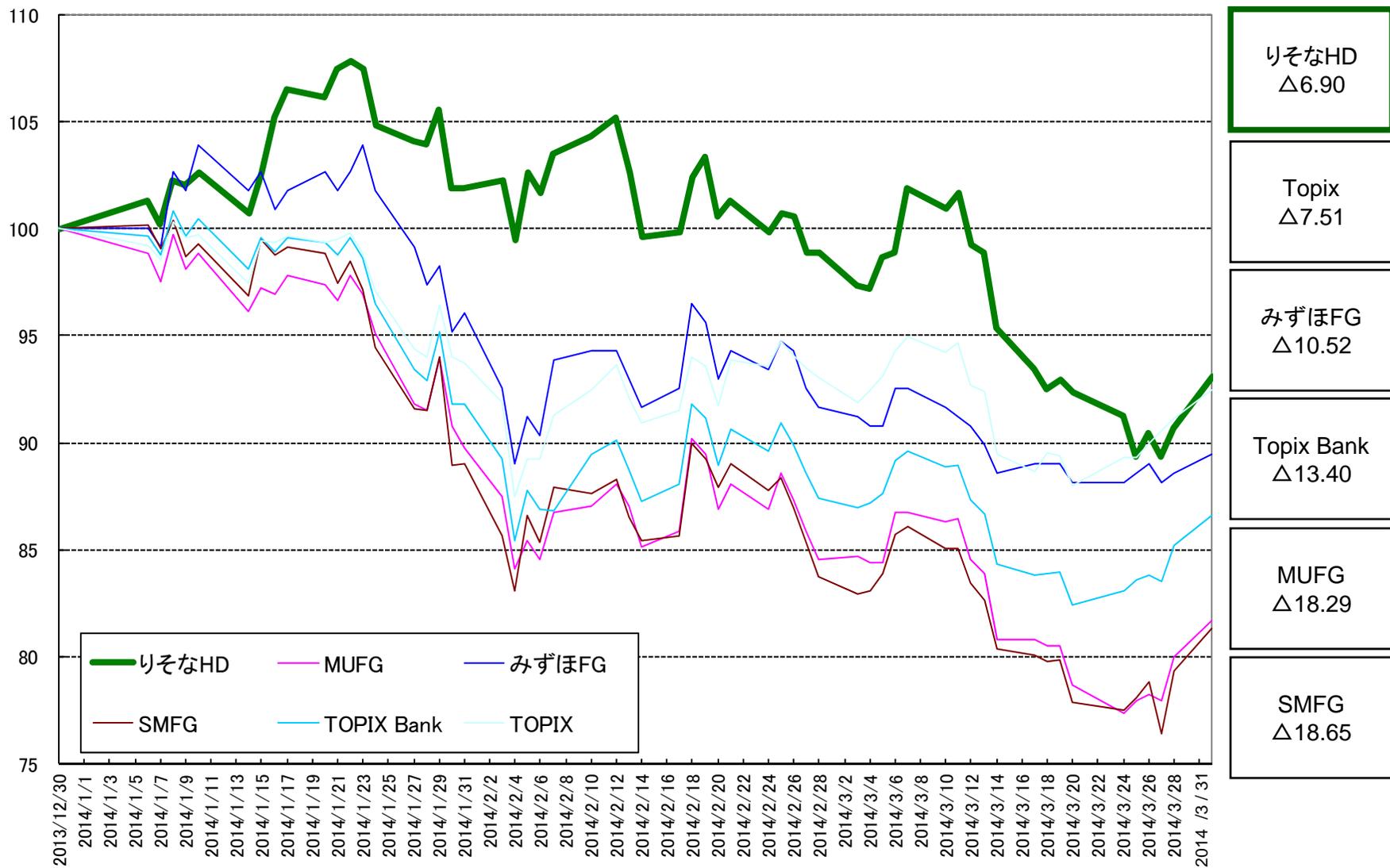
■ 2003年3月31日の株価(終値)を100とした指数の推移 (2003.3.31~2014.3.31)



株価推移 ②



■ 2013年12月30日の株価(終値)を100とした指数の推移 (2013.12.30~2014.3.31)



りそなホールディングス株式会社のご案内



主要指標	水準	備考
1株あたり利益 (EPS) (当期利益*1 / 普通株式数*2)	77円	安定した収益構造
株価収益率 (PER) (株価*3 / EPS)	6.4倍	東証一部 平均 15.3倍*4 同 銀行業 平均 9.1倍*4
1株あたり純資産 (BPS) (2013年9月末現在)	539円	着実に増加
株価純資産倍率 (PBR) (株価*3 / BPS)	0.9倍	東証一部 平均 1.1倍*4 同 銀行業 平均 0.7倍*4
1株あたり配当 (予定) 額 (2014年3月期)	15円	前年度比 +3円 (+25%) 増配予定
配当利回り (配当金 / 株価*3)	3.0%	東証一部 平均 1.8%*4 同 銀行業 平均 2.4%*4
発行済株式数 (普通株式数*2)	21.9億株	2013年7月公的資金普通株 1.9億株を買入消却

*1. 2014/3期会社業績予想ベース *2. 自己株式を除く *3. 2014年3月31日終値
*4. 出所: 大和証券(2014年4月1日付レポート「2014年3月相場の回顧」)

本日、お伝えしたいポイント

『りそな』の強み



RESONA

- 1 恵まれた営業基盤と独自のビジネスモデル
- 2 改革によりもたらされた健全なバランスシートと収益の安定性
- 3 アベノミクスの恩恵をフルに享受できる事業ポートフォリオ

資本政策の進展による株式価値の向上



RESONA

- 4 公的資金返済は最終ステージに



『りそな』の強み

1

恵まれた営業基盤と独自のビジネスモデル



2

改革によりもたらされた健全なバランスシートと収益の安定性

3

アベノミクスの恩恵をフルに享受できる事業ポートフォリオ

資本政策の進展による株式価値の向上

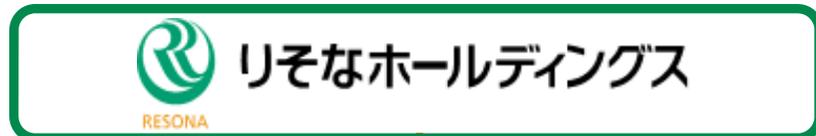
4

公的資金返済は最終ステージに

1 リソナグループの強固な営業基盤



グループ構成



(2013年9月末)

連結総資産 43.1兆円
信託財産 24.5兆円

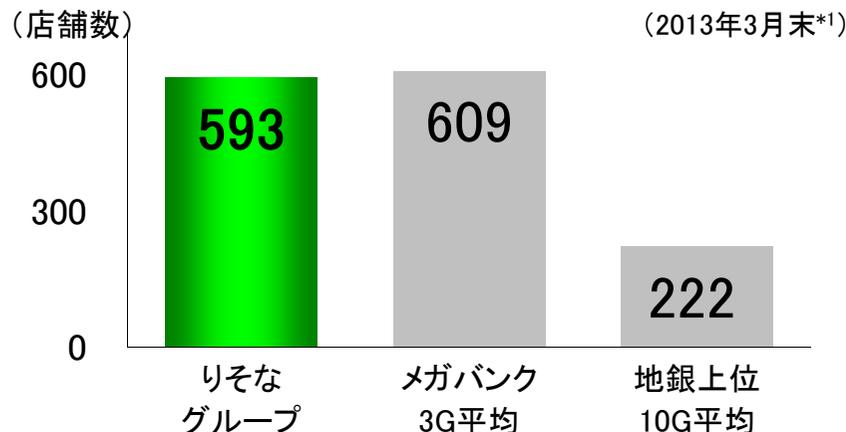
埼玉りそな銀行
総資産11.9兆円

りそな銀行
総資産27.3兆円
信託財産24.5兆円

近畿大阪銀行
総資産3.7兆円

本邦最大の信託併営リテールバンク

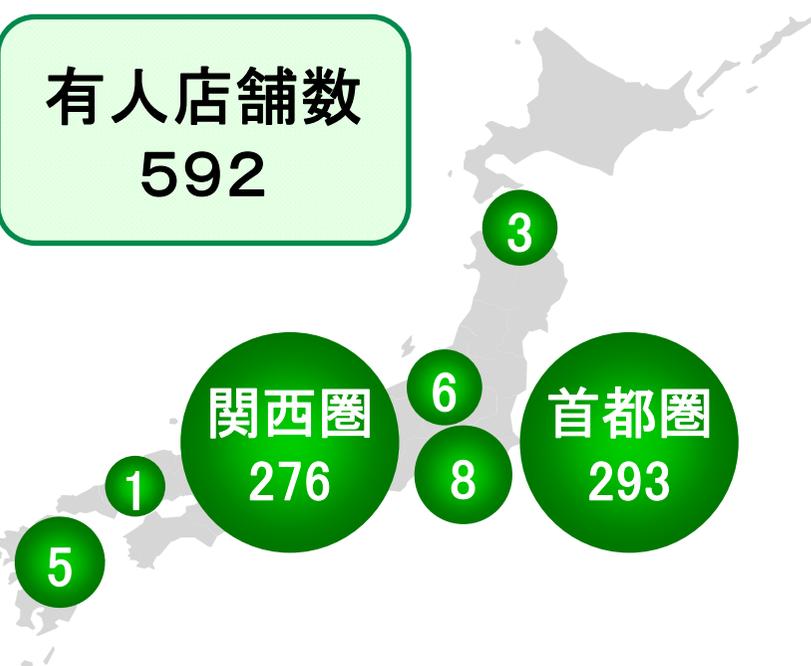
メガバンクに匹敵する有人店舗数



首都圏・関西圏において強固なプレゼンス

(2013年9月末)

有人店舗数
592



関西圏
276

首都圏
293

ATMネットワーク

りそなが運営するATM等 約8,000台
提携コンビニATM 約42,000台

*1. 各社決算資料、りそなグループ:グループ銀行合算、メガバンク:三菱東京UFJ+三菱UFJ信託、みずほ+みずほOB+みずほ信託、三井住友、地銀上位10G(連結総資産上位10地銀グループ) 横浜、ふくおかFG、千葉、ほくほくFG、静岡、山口FG、常陽、七十七、北洋、西日本シティ



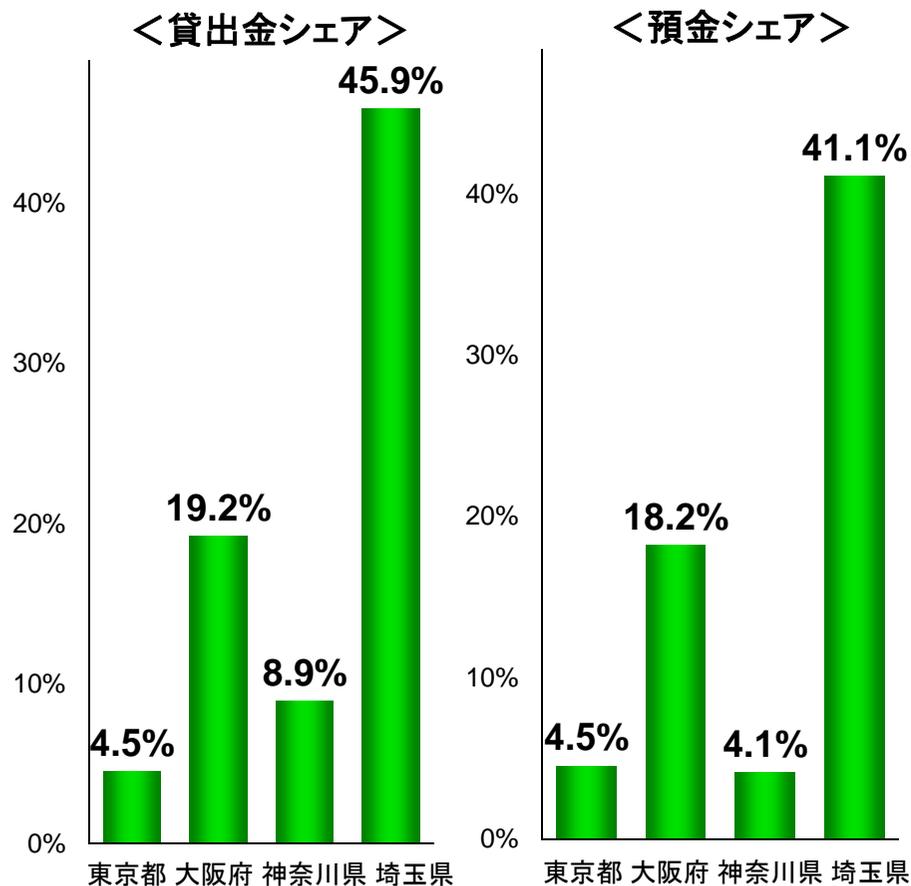
1 2つの戦略フォーカス



- 『2大都市圏』、『リテール』にフォーカスする本邦最大の信託併営リテールバンク

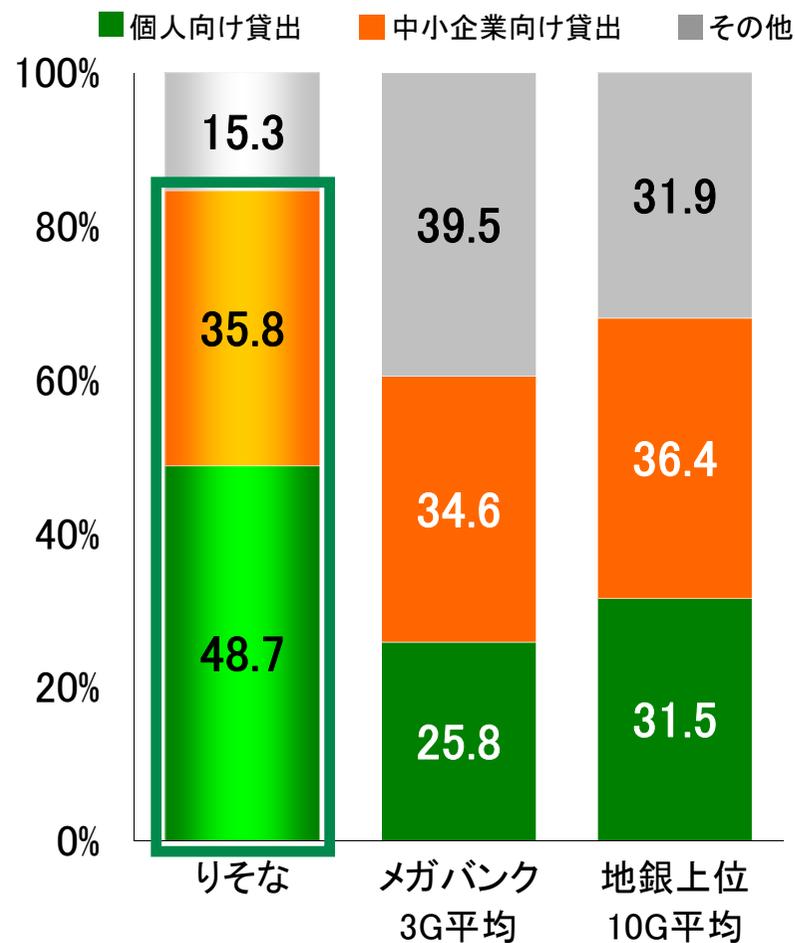
首都圏・関西圏でシェアを構築

(2013年9月末*1)



貸出の8割以上が個人・中小企業向け

(2013年9月末*2)



*1. グループ銀行合算、日本銀行都道府県別預金・貸出金(国内銀行)に占める割合

*2. 各社決算資料、グループ銀行合算、メガバンク:三菱東京UFJ+三菱UFJ信託、みずほ+みずほ信託(預貸金利回差はみずほのみ)、三井住友、地銀上位10G:連結総資産上位10地銀グループ(横浜、ふくおかFG、千葉、ほくほくFG、静岡、山口FG、常陽、七十七、北洋、西日本シティ)

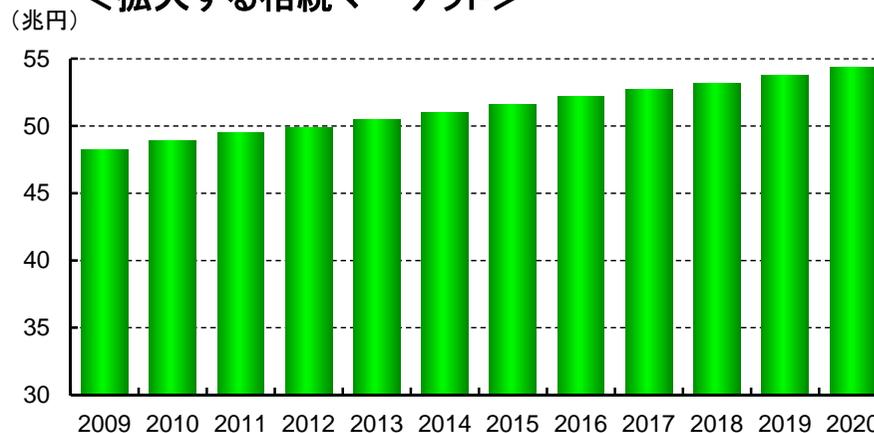
1 高齢社会にベストマッチした「リテール×信託」のビジネスモデル

商業銀行が信託機能を持つ強み



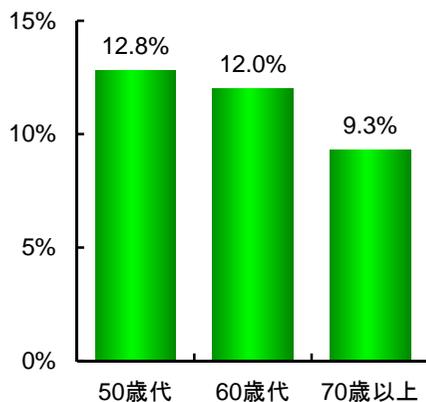
高齢社会に内在する承継ニーズ

- 今後10年間で累計500兆円超が次世代へ移転^{*3}
 <拡大する相続マーケット>

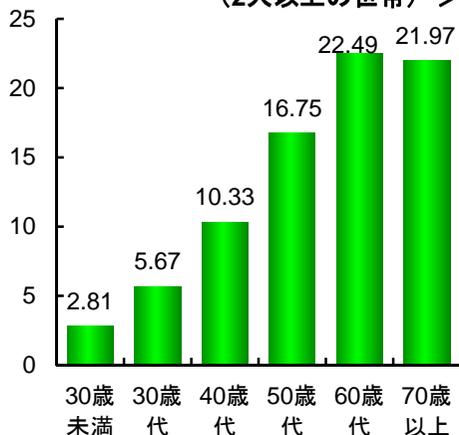


りそなは高齢社会に厚い顧客基盤

<りそなの活動顧客数 / 年齢層別人口^{*1}>

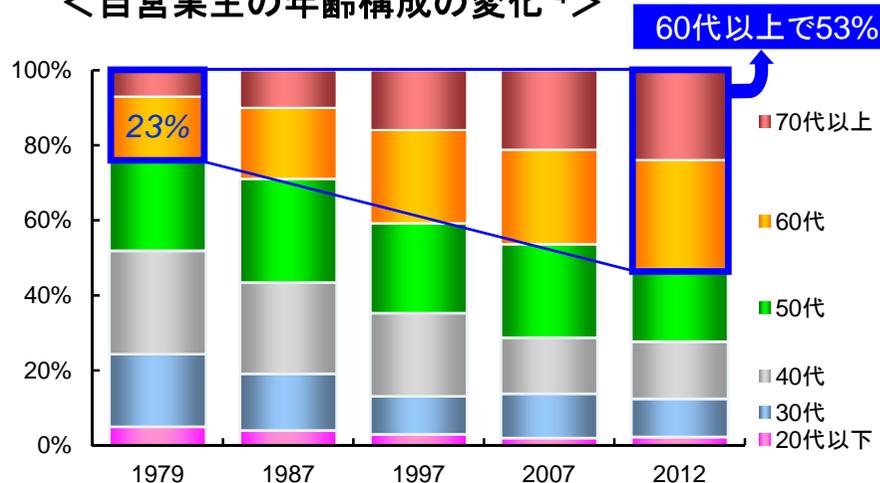


<一世帯あたり貯蓄額 (2人以上の世帯)^{*2}>
 (百万円)



- 円滑な事業承継が法人オーナーの悩み

<自営業主の年齢構成の変化^{*4}>



*1. 活動顧客数は2013年3月末(グループ銀行合算)、年齢別総人口は総務省人口推計(2013年4月1日現在) *2. 出所:総務省「家計調査」
 *3. 出所:野村資本市場研究所 *4. 出所:総務省「就業構造基本調査」、中小企業庁「中小企業白書」をもとに作成



1 サービス改革のフロントランナーとしての確固たる優位性

- 「銀行の常識を変えよう。」は、お客さまからもトップクラスの評価

＜りそなの「サービス改革」の取り組み＞

平日17時まで営業

待ち時間ゼロ

次世代型店舗

休日営業

24時間対応
テレフォンセンター

女性の積極登用を通じた
ホスピタリティの向上

365日営業の
新チャネル



＜セブンデイズプラザ＞

りそな銀行 うめきた

あべのハルカス《2014年4月1日オープン》

埼玉りそな銀行 おおみや《2014年4月5日オープン》

近畿大阪銀行
うめだプラザnanoka



りそな銀行梅田支店
プライベートサロン
Reラグゼ



日経金融機関ランキング

(第10回 2014年1月)

主要行で最上位の顧客満足度

5位	埼玉りそな銀行
9位	りそな銀行
10位	新生銀行
12位	静岡銀行
13位	三菱UFJ信託銀行
15位	三菱東京UFJ銀行
18位	三井住友銀行

世代別・50代の顧客満足度は全体で首位

1位	りそな銀行
2位	住信SBI銀行
3位	新生銀行
4位	三井住友信託銀行
5位	ゆうちょ銀行

『りそな』の強み

1

恵まれた営業基盤と独自のビジネスモデル

2

改革によりもたらされた健全なバランスシートと収益の安定性



3

アベノミクスの恩恵をフルに享受できる事業ポートフォリオ

資本政策の進展による株式価値の向上

4

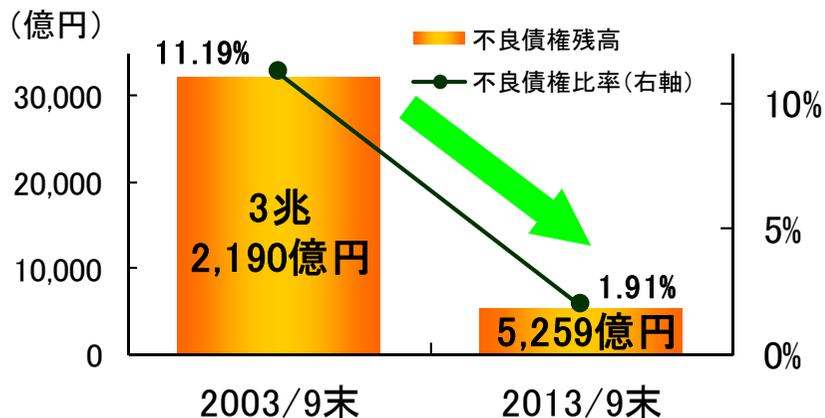
公的資金返済は最終ステージに

② りそな改革① 負の遺産との決別



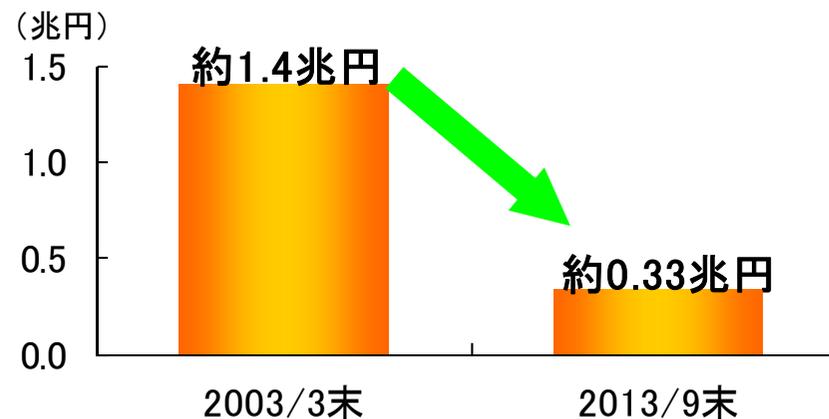
不良債権

■ 不良債権問題との決別



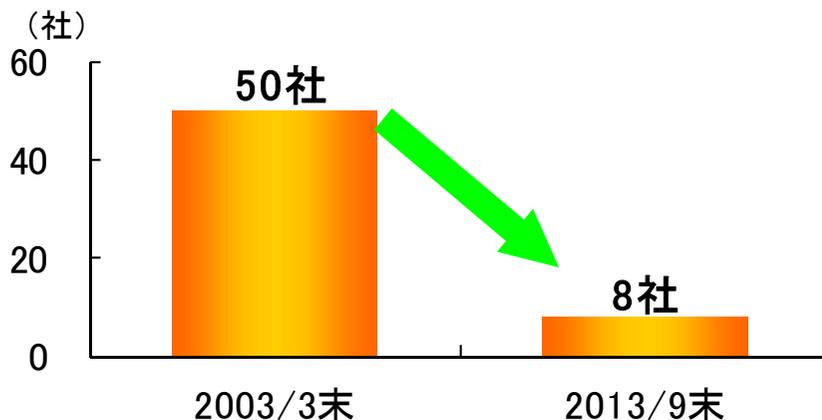
保有株式残高

■ 1兆円以上を削減



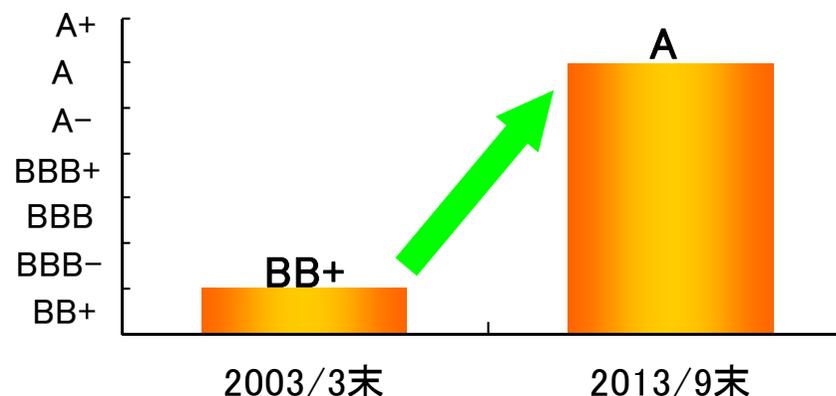
関連会社数

■ コアビジネスへの回帰



格付け*1

■ 大幅改善(5段階向上)



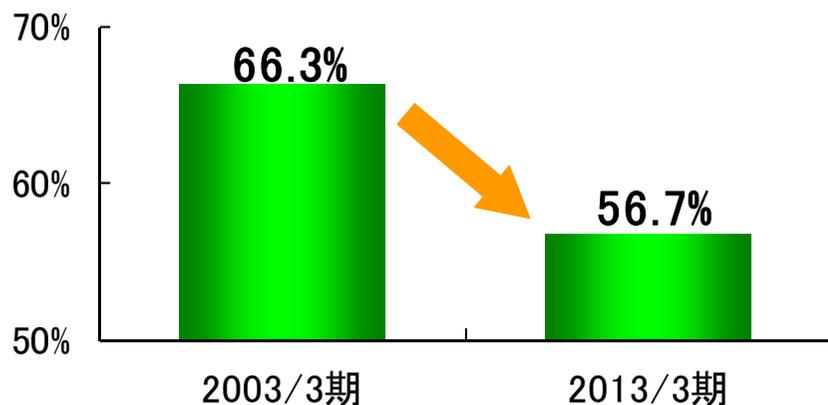
*1. りそな銀行 長期債務格付け(スタンダード&プアーズ)

② リソナ改革② 持続的成長を実現



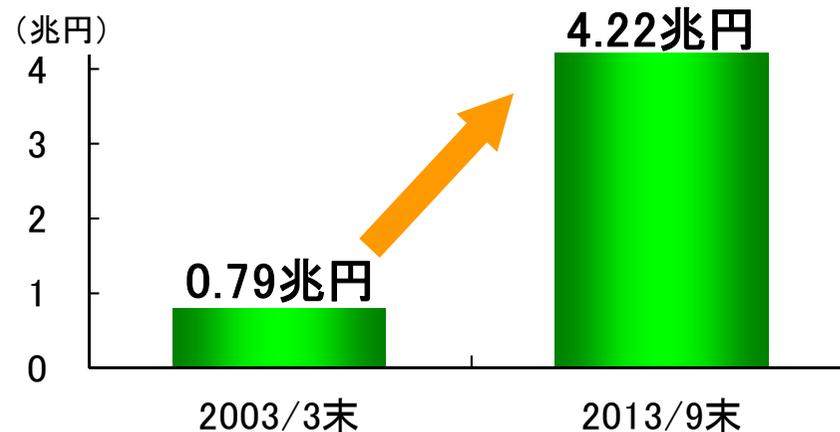
営業経費率

■ ローコスト経営の定着



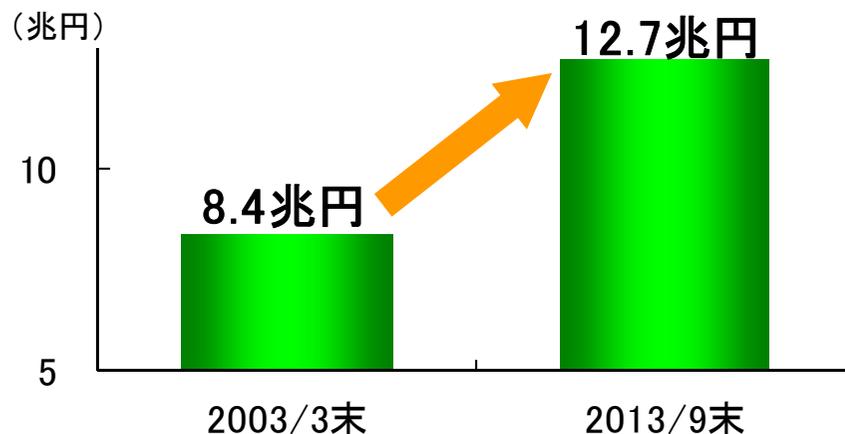
投資商品残高*1

■ 投資商品残高は約5倍に



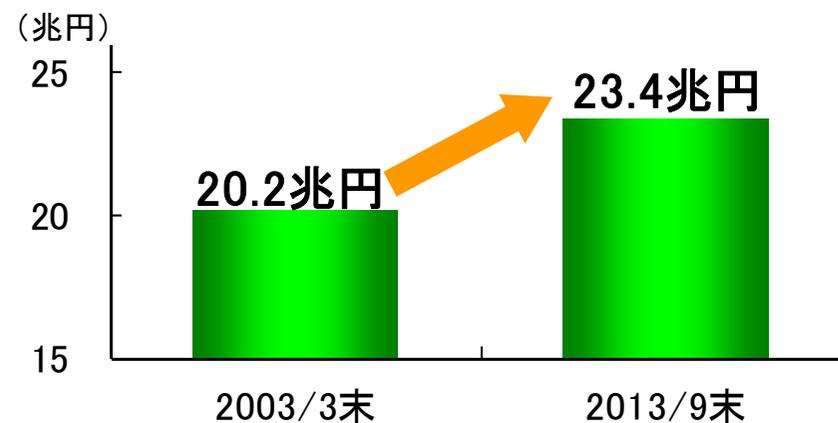
住宅ローン

■ 良質な貸出資産を積上げ



個人預金残高

■ 個人預金は着実に増加



*1. 個人向け投資商品＝個人向け投信、公共債、保険等

② 健全なバランスシート

■ ダウンサイドリスクの小さい健全な財務体質を維持

りそなホールディングス 連結バランスシート

(2013年9月末現在)

健全な貸出金 ポートフォリオ

- ・住宅ローンが47.6%
(グループ銀行合算)を占めるほか、法人向け貸出も約9万先の中堅・中小企業に小口分散

保守的に管理 された有価証券 ポートフォリオ

- ・日本国債中心の運用
- ・国債の平均残存期間は2.8年
- ・保有株式の含み損益がゼロとなる日経平均株価は6,700円程度



安定した 調達構造

- ・強固な預金基盤
約1,300万の個人のお客さま基盤
⇒安定した資金調達が可能

十分な水準の 自己資本比率を 維持

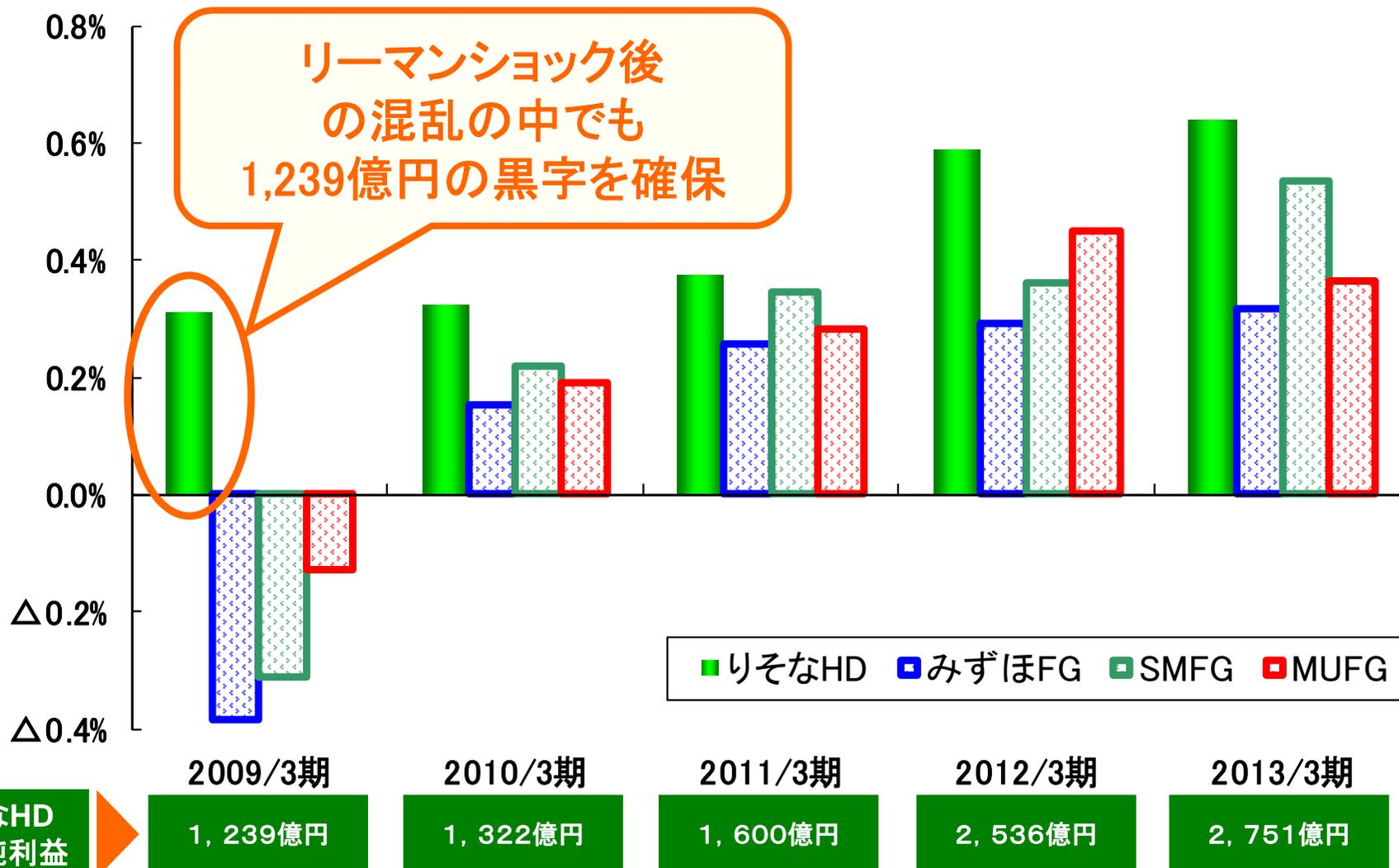
- ・自己資本比率は15.21%^{*1}
引き続き十分な水準を維持

*1. 規制資本比率(パーゼル2)

② 連結ROA(当期純利益／総資産)の推移*1



- 安定した黒字体質を実現
- 総資産対比の利益はメガバンクにも劣らない水準



*1. 出所: 会社公表資料

『りそな』の強み

1

恵まれた営業基盤と独自のビジネスモデル

2

改革によりもたらされた健全なバランスシートと収益の安定性

3

アベノミクスの恩恵をフルに享受できる事業ポートフォリオ



資本政策の進展による株式価値の向上

4

公的資金返済は最終ステージに

3 歴史的に強みを持つ住宅ローンに更なる追い風



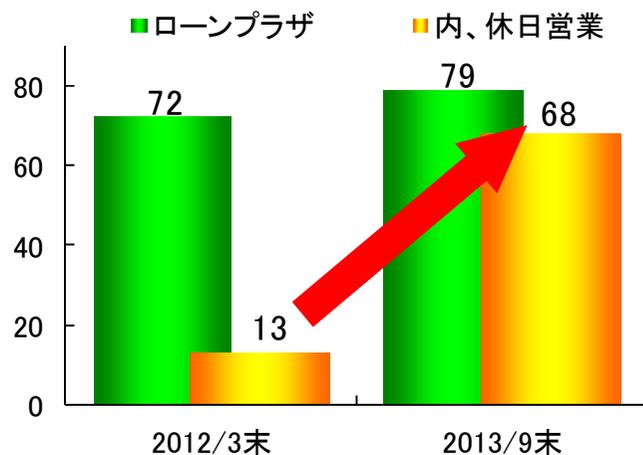
りそなの地盤における住宅購入意欲の高まり

- ✓ インフレ期待の高まり
- ✓ 住宅着工戸数の増加
- ✓ 消費税増税に伴う住宅ローン減税拡充
- ✓ 都市部への人口流入・世帯数増加

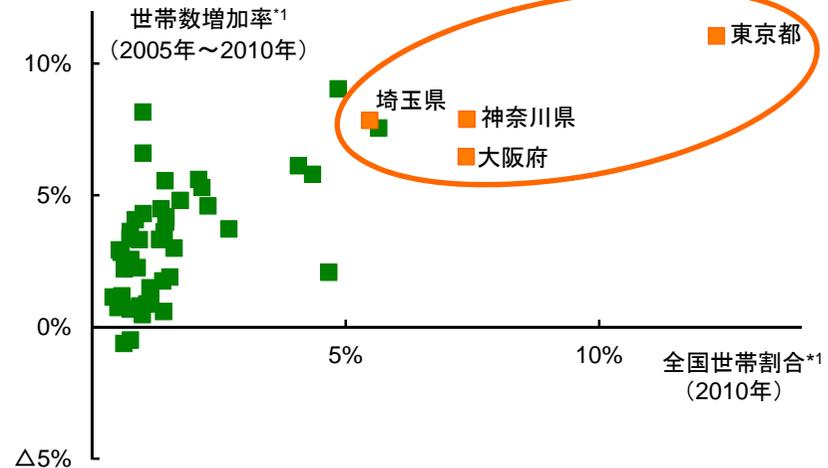


お客さまの視点による施策展開

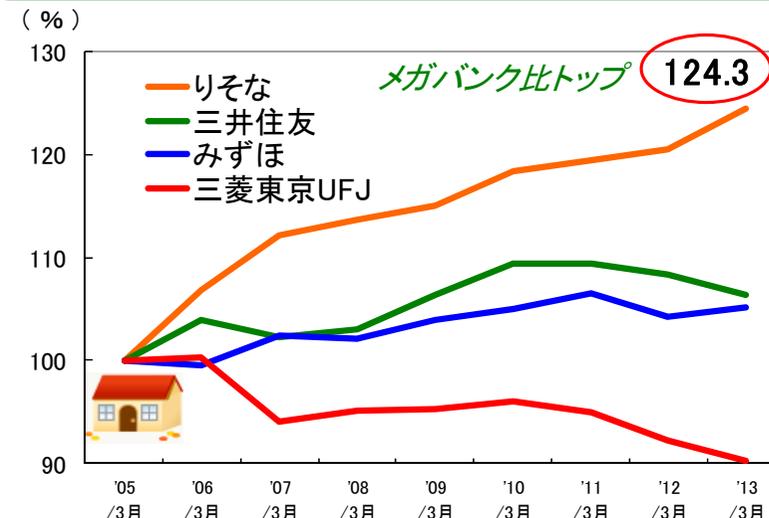
ローンプラザの休日営業を拡大しています



世帯が集積する「りそなの営業地盤」



メガバンクを圧倒する住宅ローン残高の伸び率*2



*1. 出所: 総務省「国勢調査」 *2. 出所: 各社公表資料、2005年3月期末を100として指数化、りそな: グループ銀行合算、三井住友: 三井住友銀行単体、みずほ: みずほ銀行単体、三菱東京UFJ: 三菱東京UFJ銀行単体

3 中小企業向け貸出



りそなの地盤において喚起される資金需要

- ✓ インフレ期待の高まり
- ✓ 成長戦略、公共投資拡大
- ✓ 東京オリンピック 2020年開催決定
- ✓ 中小企業オーナーの高齢化



お客さまの視点による施策展開

事業承継をトータルにサポートします



事業後継者育成を行う「りそなマネジメントスクール」(りそな総合研究所主催)

資産管理会社向け貸出

アパマンローン

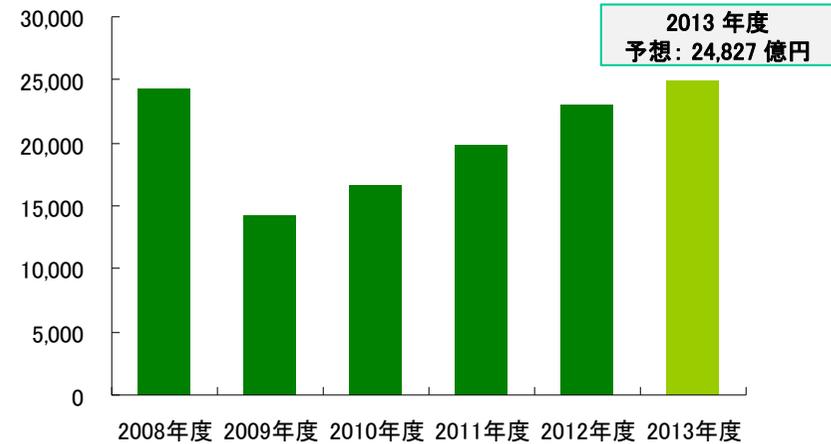
自社株承継信託

不動産コンサル

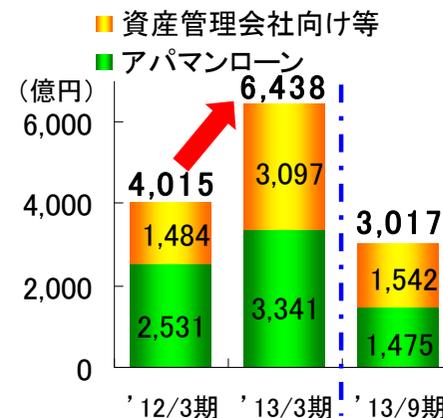
不動産仲介

事業転換コンサル

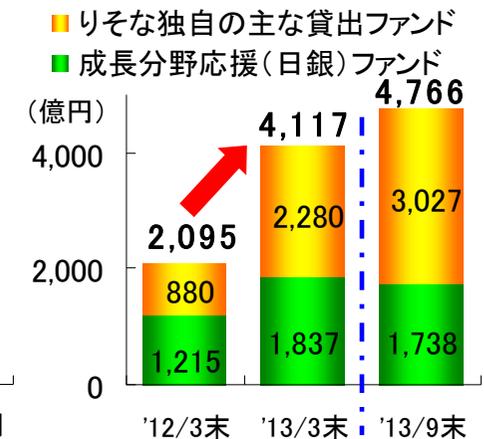
中小製造業による国内設備投資額推移*1



資産管理会社向け貸出・アパマンローン 新規実行額*2



成長分野向け貸出ファンド残高*2



*1. 出所: 日本政策金融公庫 *2. グループ銀行合算

3 資産承継ビジネス



りそなの地盤において高まる資産承継ニーズ

- ✓ 超高齢社会の到来
- ✓ 相続税制の改正
- ✓ 都市部への資産流入
- ✓ お客さまニーズの多様化



お客さまの視点による施策展開

信託機能を活用して、お客さまの大切な資産を次世代につなぐお手伝いをしています

将来の意思能力・身体機能の衰えに備えたい



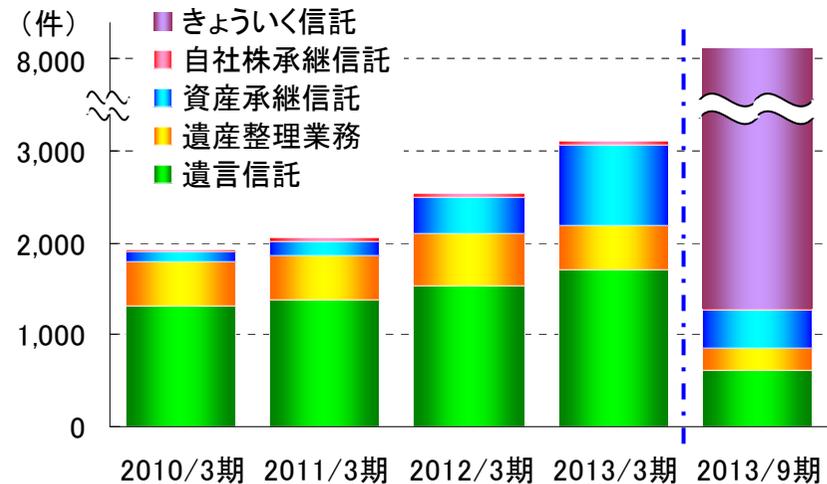
マイトラスト 未来安心図

相続の準備をしたい



遺言信託

承継信託機能活用件数の推移



きょういく信託 (2013年4月販売開始)

・2013/4～2014/2月 受託実績 1万件
受託金額 約600億円

イメージ



3 金融商品販売ビジネス



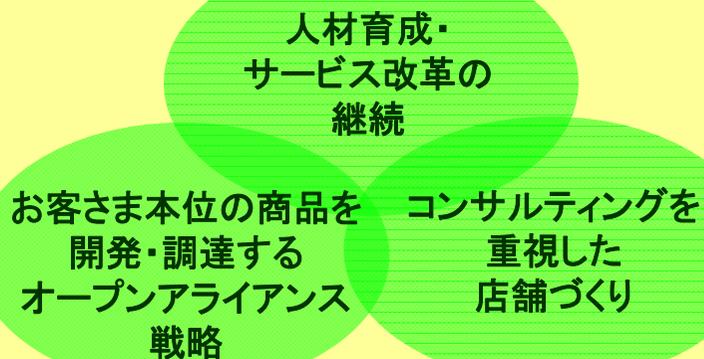
りそなの地盤で『貯蓄から投資へ』が加速化

- ✓ 株式市況の改善傾向
- ✓ インフレ期待の高まり
- ✓ 都市部への資産流入
- ✓ 少額投資非課税制度 (NISA)

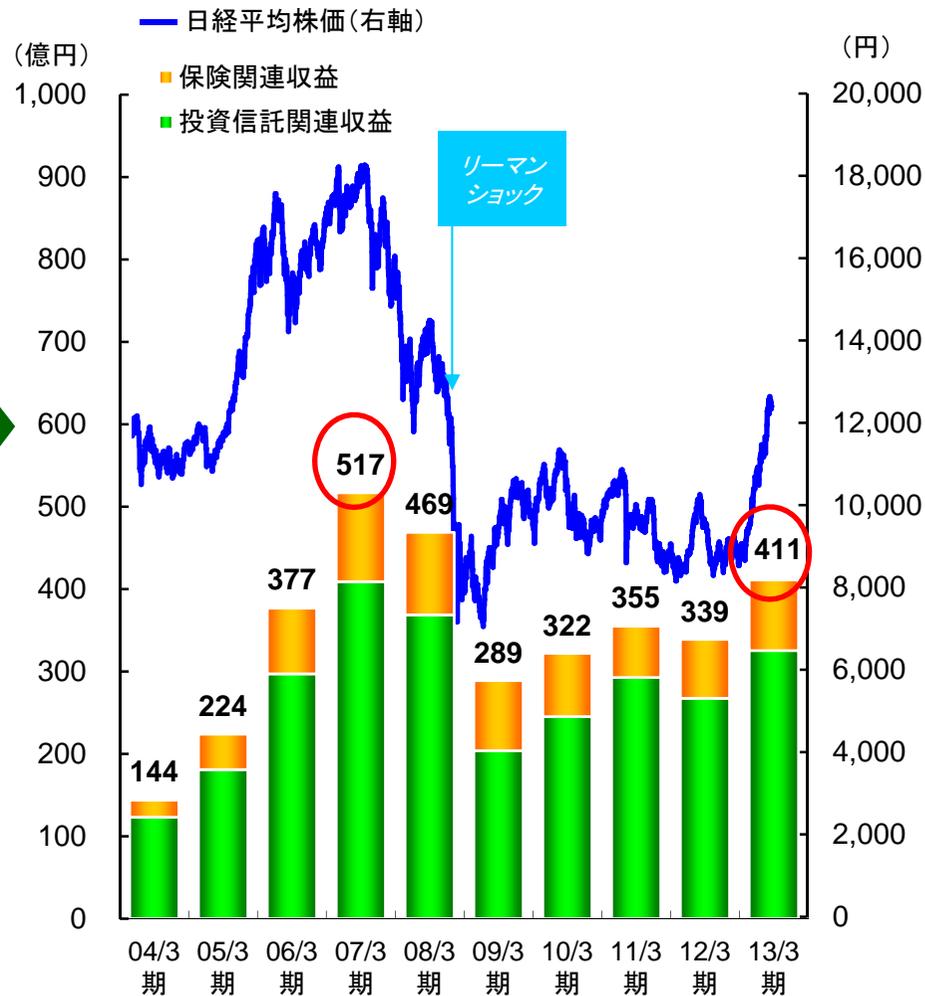


お客さまの視点による施策展開

お客さまに
最良の商品・サービスをご提供するために



投資信託・保険関連収益の推移



『りそな』の強み

1

恵まれた営業基盤と独自のビジネスモデル

2

改革によりもたらされた健全なバランスシートと収益の安定性

3

アベノミクスの恩恵をフルに享受できる事業ポートフォリオ

資本政策の進展による株式価値の向上

4

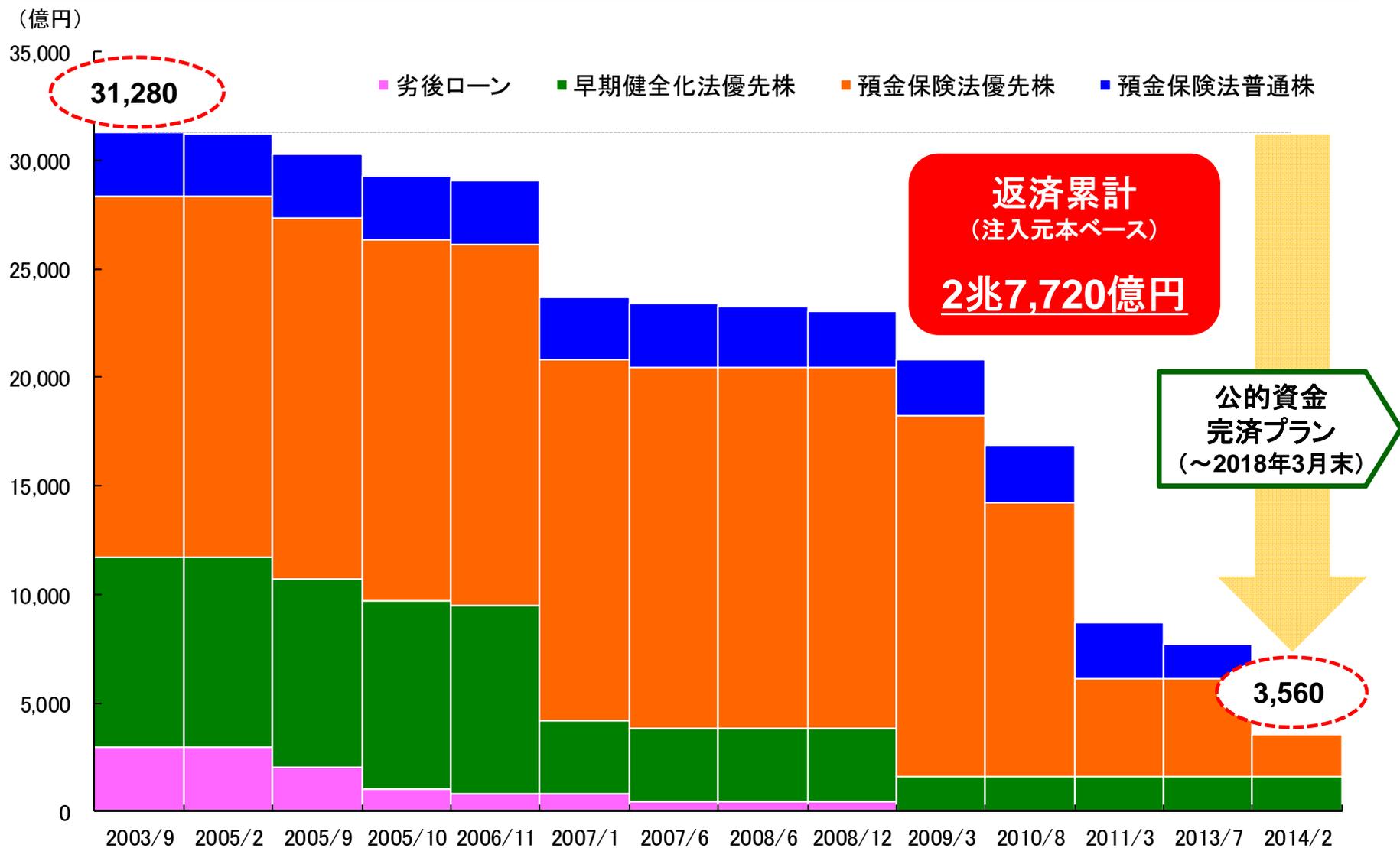
公的資金返済は最終ステージに



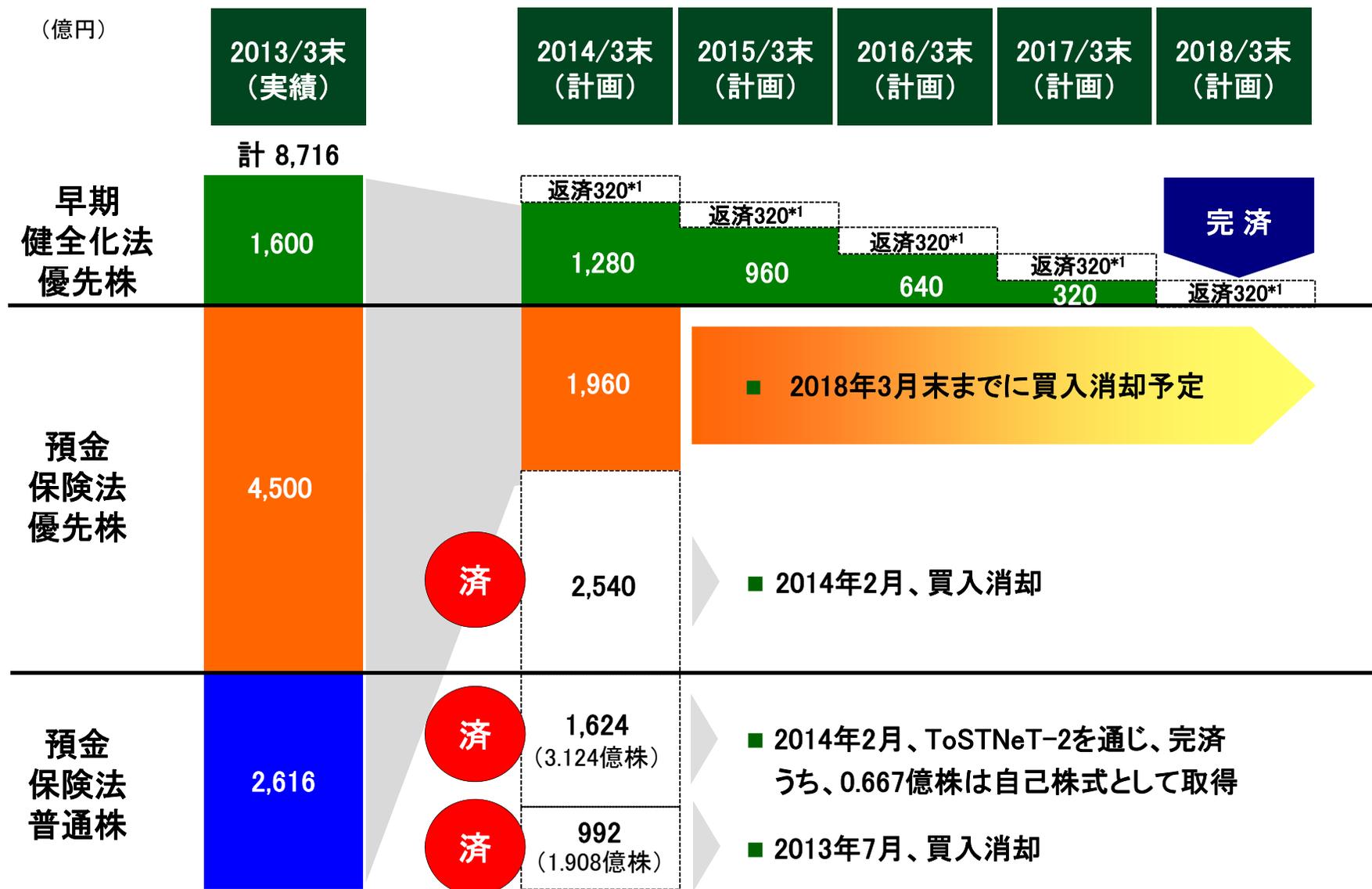
4 公的資金返済は「完済」に向けたファイナルステージへ



公的資金残高はピーク時の概ね1/10程度まで返済が進捗



4 「公的資金完済プラン」の概要と進捗状況

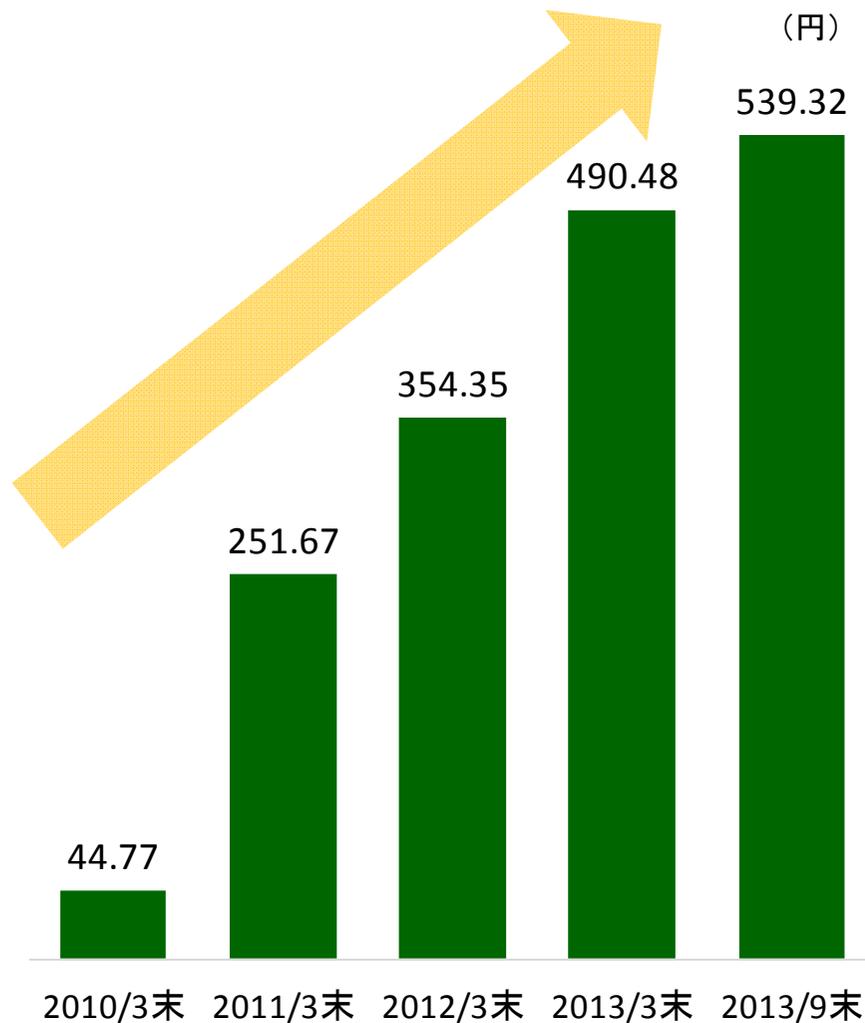


*1. 各期末後の配当支払いにより返済

4 1株指標(BPS、EPS)の改善

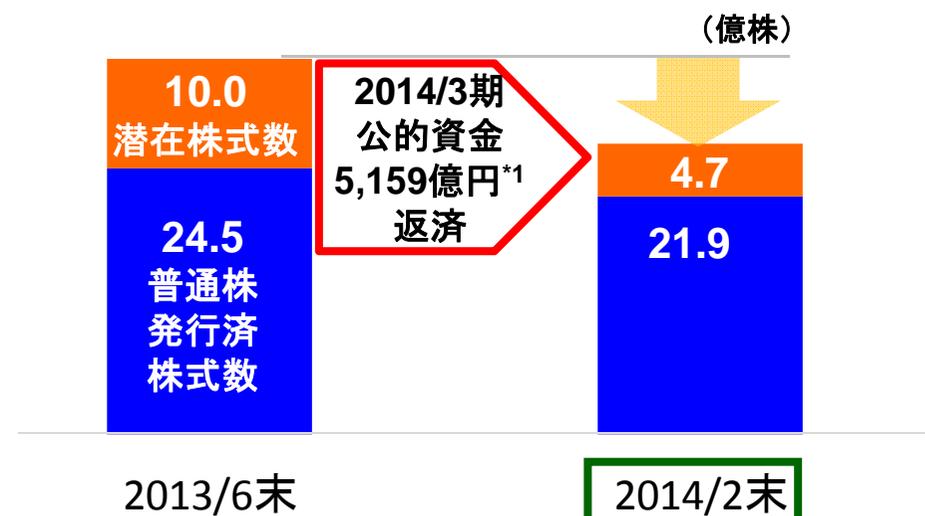


普通株式BPSは着実に増大



公的資金返済に伴いEPSは改善

- 公的資金返済進展により、株式数は減少、EPS改善

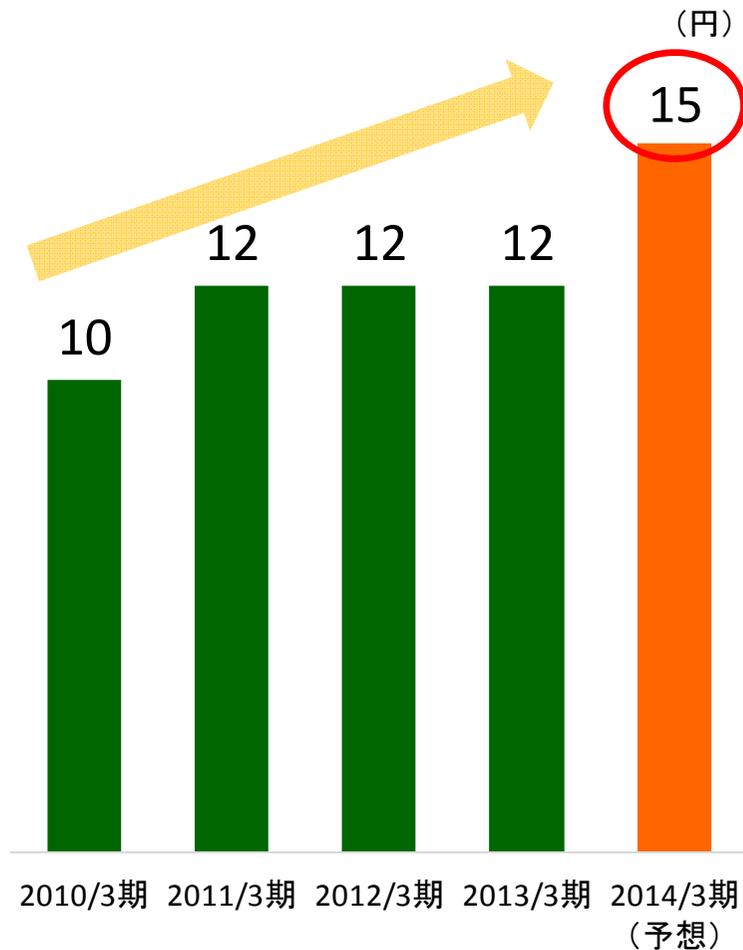


*1. 注入元本ベース *3. 当期利益は予想値1,850億円を使用

4 株式配当

- 「公的資金完済プラン」の実施により、普通株式価値の向上に努めます。

普通株式1株あたり配当金の推移



配当方針(普通株式)

- 2013年度期末配当より25%増配 @12円 ⇒ @15円
- 当面は@15円の安定配当を継続

ご参考

りそなHD株配当利回り*1

3.00%

東証一部上場企業
配当利回り*2

1.87%

*1. 今期1株あたり配当予想額15円/499円(2014/3/31終値)

*2. 出所: 大和証券(2014年4月1日付レポート「2014年3月相場の回顧」)

ご参考資料

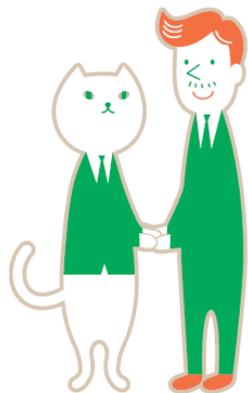


りそなのCSR① 地域経済活性化のために



『オープンイノベーションセミナー & 個別商談会』
「大手企業」と「ものづくり企業(中小企業)」の
ビジネスマッチングの場を提供

『合同企業説明会』
学生の就職支援と地元企業の人材確保を
支援するため、「就活」の機会を提供



『ネットワーク商談会』
「食」をテーマに、お客さま同士の新たな
“ネットワーク”を広げる商談会を企画

りそなのCSR② 子ども向け金融経済教育



『りそなキッズマネーアカデミー』

2013年夏までに約26,000人が参加
自治体や学校、企業とのコラボで
「地域オリジナル企画」を実施
お金の大切さに加え、環境や食・健康など、
複合的に学習



水力発電機を動かす体験
環境に優しい社会づくりを学習



低学年から
ゲームで楽しく
お金の大切さを
学習

予算内でカレーの材料を調達
お金と食の大切さを実感



大学の講義を体験
テーマは
「健康に関する英語」



りそなのCSR③ ダイバーシティの推進



りそなウーマンズカウンスル

女性が生き生きと活躍できる風土づくりに
向けた経営直轄の諮問機関



りそなパパママの会

子育てや仕事の両立について
一緒に考える機会を提供

『ダイバーシティ経営企業100選』

(経済産業省共催)に選ばれました
(2013年3月)



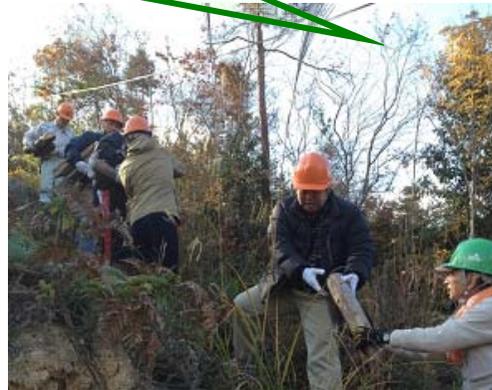
復職支援セミナー

りそなのCSR④ 環境への取組み



『りそなの絆』被災地植樹プロジェクト
東日本大震災の被災地に苗木を植樹します

森づくり活動
地元の森林を守り育てる活動を続けています



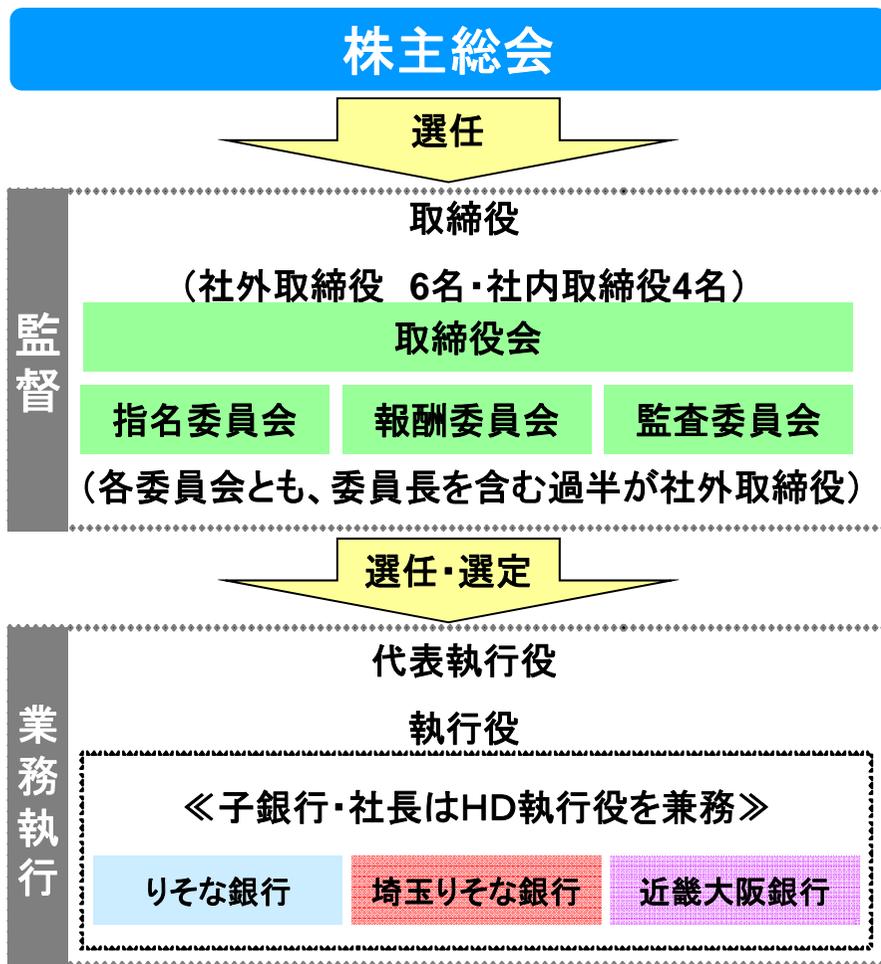
コーポレートガバナンス



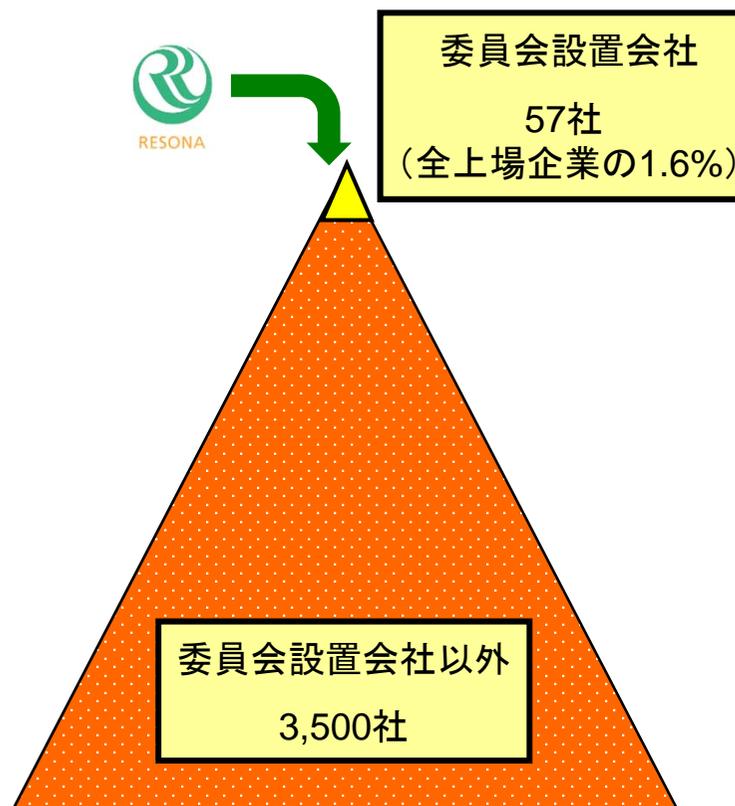
邦銀グループ初の委員会設置会社・社外取締役で過半数を構成

- 邦銀グループ初の委員会設置会社
 - 経営の「監督」と業務「執行」を分離

- 日本の「委員会設置会社」の状況
 - 全上場企業の1.6%

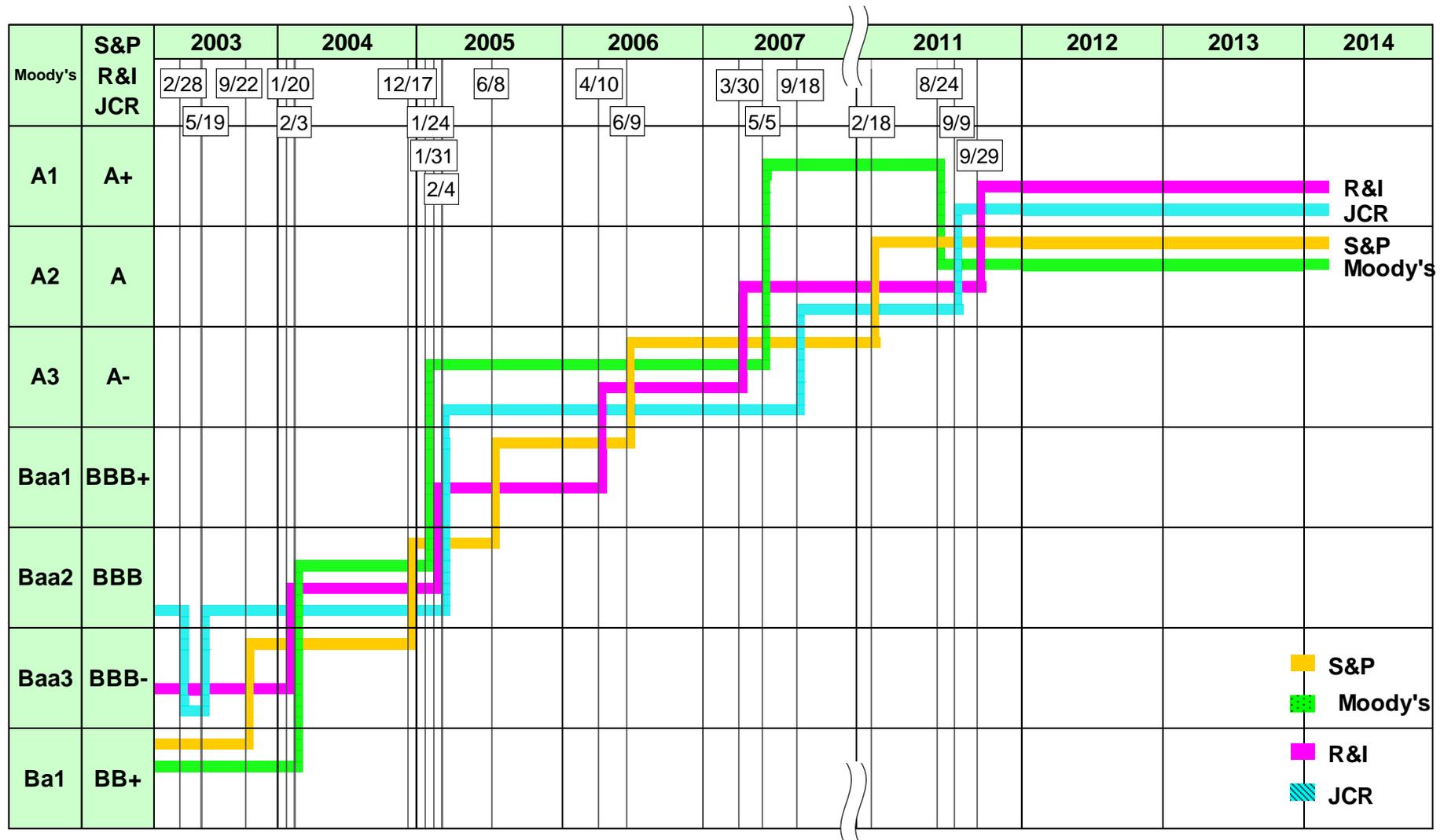


【全上場企業に占める委員会設置会社の割合*1】



*1. 出所: 日本取締役協会「上場企業のコーポレート・ガバナンス調査」(2013年8月1日)

格付けの推移(りそな銀行、長期債務格付け)



本資料内で使っている用語のご説明



本資料の中にでてくる用語の一部についてのご説明を掲載しております。



■ 優先株式

優先株式とは、種類株の一種で、他の株式に比べて優先的取扱いを受ける株式のことです。優先株主は、配当や会社清算時の残余財産の分配を普通株主に優先して受ける権利があります。また、取得請求権(株主が発行会社に対して当該株式の取得を請求し、対価として当該発行会社の発行する普通株式等の交付を受けることができる権利)が付与されており、普通株主にとって1株当たり利益や純資産の希薄化効果を有するものが一般的です。

■ 希薄化

一般的には、時価発行増資や新株予約権の行使等によって、発行済株式総数が増加し、1株当たり純利益(EPS)や1株当たり純資産(BPS)が減少することを指しています。取得請求権付優先株式との関連では、優先株主が発行会社に対して取得請求権を行使すると、発行会社は対価として普通株式(通常は新株)を交付することになりますので、時価発行増資と同様に発行済株式数が増加し、EPSやBPSが減少することになります。

■ ROA

Return On Asset(総資産利益率)。利益を総資産で除したもので、収益性を示す財務指標のひとつです。企業が、その経営資源(総資産)から、どの程度効率的に収益を生み出しているかをあらわしています。



りそなグループ HPのご案内



<http://www.resona-gr.co.jp/index.htm>



こちらからIR資料等をご覧いただけます。

 公式You Tube
<http://www.youtube.com/user/ResonaGroup>

 公式Facebookページ
<http://www.facebook.com/resonagr/>

 公式Twitter
http://twitter.com/resona_pr

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本及び海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

なお、本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、有価証券の勧誘を目的とするものではありません。

